

水道水の保存期間についての検証実験 【経過第5報】

平成27年6月1日から開始した検証実験は、約4ヶ月が経過しました。

9月に入り、ついに冷蔵庫に保存したペットボトルの水道水の塩素も消えてしまいました。

しかし、常温で保存した水道水も含め、塩素が0でも、今回も細菌の繁殖がほとんどありませんでした。生活用水での利用はまだまだ可能であると考えられます。

<条件A>

市販されているミネラルウォーターのペットボトルと、ホームセンターで購入できるポリタンクです。

容器	ペットボトル2ℓ	ポリタンク10ℓ
----	----------	----------

<条件B>

部屋で普通に置いておく場合と、冷蔵庫に入れて保存する場合です。冷蔵庫には、ペットボトルのみ入れることにしました。

保存場所	常温倉庫	冷蔵庫（約5℃）
------	------	----------

<条件C>

保存する時に、空気中の雑菌の有無が影響を及ぼすことが予想されますので、容器に空気が入っているか否かで分けてみました。

密閉状態	容器に空気が入っている	できるだけ空気をいれない
------	-------------	--------------

みなさん、磐田の水は安全だから
安心して使いましょう！



©磐田市

検証の途中経過と計画

		冷蔵庫ペットボトル		常温ペットボトル		常温ポリタンク	
		空気なし	空気あり	空気なし	空気あり	空気なし	空気あり
スタート	H27.6.1 実験開始						
1日経過		-	-	-	塩素 0.40 mg/l	-	塩素 0.35 mg/l
2日経過		-	-	-	塩素 0.40 mg/l	-	塩素 0.30 mg/l
1週経過	常温のポリタンク（空気あり） 塩素残留濃度 ゼロ	-	-	塩素 0.20 mg/l	塩素 0.10 mg/l	塩素 0.10 mg/l	塩素 0 mg/l
2週経過	常温のペットボトル、ポリタンク すべて塩素残留濃度 ゼロ	-	-	塩素 0 mg/l	塩素 0 mg/l	塩素 0 mg/l	-
4週経過（1ヶ月後）	H27.6.29	塩素 0.30 mg/l	塩素 0.25 mg/l	一般細菌 0 個	一般細菌 0 個	一般細菌 0 個	一般細菌 0 個
8週経過（2ヶ月後）	H27.7.27	-	塩素 0.2mg/l 一般細菌 0 CFU/ml	-	一般細菌 1 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
12週経過（3ヶ月後）	H27.8.24	塩素 0.15mg/l 一般細菌 1 CFU/ml	塩素 0.1mg/l 一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
16週経過（4ヶ月後）	H27.9.24	-	塩素 0mg/l 一般細菌 0 CFU/ml	-	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml	一般細菌 0 CFU/ml
20週経過（5ヶ月後）	H27.10.19	-	一般細菌	-	一般細菌	一般細菌	一般細菌
24週経過（6ヶ月後）	H27.11.16 実験終了	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌	一般細菌

※ 一般細菌は水の中に均等に含まれているわけではないので、一般細菌は測定結果に増減があります。